



めざせ太陽の子



e-mail アドレス younan-es@tym.ed.jp

HP アドレス <http://www.younan-e.tym.ed.jp/>

吹く風が冷たくなり、時雨模様のお天気の日が増えてきました。朝、登校すると、児童玄関前には校庭の樹木から落ちた木の葉が飛び散っていることが多くあります。子供たちが登校してくるのを迎えながらそれらを拾い集めていると、あいさつ運動をしている運営委員の子供たちも、進んで手伝ってくれるようになりました。気持ちのよい学校にするために自分にできることを、自ら考え行動している姿に成長を感じています。

さて今年度の重点目標は、「主体的に学び、自ら考え行動する陽南っ子の育成」です。主体的な学びを目指す取組の一つとして、12月から全校で自主学習に本格的に取り組んでいきます。これまで継続的に取り組んできた学年もありますが、目当てをもちながらさらに内容を工夫するなど、パワーアップできるよう励ましていきたいと思えます。ご家庭でもぜひ温かい声掛けをしてあげてください。

令和5年も残り1か月となりました。この1年間の成長を実感するとともに、新たな年に向けて希望がもてるように、地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

「おおかみこどもの森づくり」講座&ワークショップ

11月15日(水)

白萩西部小・陽南小の全校児童と公民館の方々、合わせて約100名が参加しました。講師は、林学博士・東京農業大学特別研究員の西野さんです。はじめに白萩西部小の体育館で、森づくりに関するお話を聞きました。低学年にも分かりやすい内容で、子供たちは興味深く聞いていました。次に山や森に関する〇×クイズをしました。「ライチョウは1年に何回羽が生え換わるか」のように、なかなか答えが分からない問題も多く、正解が発表されると体育館に驚きと喜びが混じりあった歓声が広がっていました。(※正解は3回です。)

次に丸山総合公園に場所を移して、どんぐり拾いと苗づくりのワークショップをしました。グループで競い合いながらどんぐりを袋いっぱい集めると、それを苗ポットに植えました。どんぐりを植える向きや深さ、土のかぶせ方にもコツがあるので、子供たちは慎重に植えていました。今回作った苗ポットは、各自が家庭に持ち帰って育てています。やがて大きく育った苗を植樹できるといいですね。



裏面も
あります

5年 夢の教室

11月17日(金)

今年の「夢先生」は、陸上競技マラソンで活躍された市河 麻由美さんです。前半は、市河さんと子供たちがゲームをして楽しみました。一緒に体を動かすことで、子供たちの緊張した気持ちもほぐれてきたようでした。後半は市河さんの夢トークです。市河さんが選手として活躍されていたときの映像を見たり、夢に向かって取り組んできたこれまでの人生や経験、そこから生まれた子供たちへのメッセージを聞いたりしました。子供たちは「あきらめない努力と行動」という言葉が心に残ったようです。今後の子供たちの人生においても忘れられない言葉となってくれることを願っています。



雪囲い共同作業

11月21日(火)

町内の各小中学校の校務助手が集まって、学校敷地内の樹木の雪囲い作業の一部を共同で行いました。本校での作業では、「植木屋たなべ」の職人さんを講師として、縄の結び方等の講習もしていただきました。校務助手の中には、今年度初めてこの仕事に携われた方もいることから、基礎・基本を確認したり、お互いに交流したりするよい機会となったようです。



1・2年 親子給食

11月27日(月)

子供たちの給食の様子やアレルギー対応等の実際を知っていただくことを目的として、親子給食を数年ぶりに開催しました。給食の様子に先立って、上市中央小栄養教諭の石田先生を講師として、保護者向けに食育指導をしていただきました。学校給食の栄養基準量や食事内容、献立について、また朝ごはんの大切さについてお話をしていただきました。

上市町の学校給食には、地元でとれた地場産物を積極的に取り入れています。当日は、「学校給食 かみいちの日」の献立でした。本校の6年女子児童が考えたメニュー「米粉麺スープ」が提供され、子供たちは上市産の米粉麺のもちもちした食感を楽しみながら食べていました。保護者の中には、子供たちが配膳している様子を初めて見る方も多く、お子さんの姿を写真に収めている方もいました。給食では、家では食べたことがないメニューが出る場合があります。また不足しがちな栄養素が多く摂取できるように献立が工夫されています。実際の試食をもとに、学校給食への理解を深めるとともに、味付けや調理法等、家庭での食事づくりにも参考にいただければ幸いです。

